

代表取締役 小林 勝利



株式会社 デイジャパン

群馬県前橋市上泉町 458-1

スーパーフードを多くのお客様に届けたい
情報収集力とスピーディな供給でニーズに応え

国産もち麦を使用した健康食品などを製造・販売している『デイジャパン』。同社の小林社長は前社での人脈を活かして情報を収集し、お客様のニーズに合った商品を提供することで、順調に会社を成長に導いている。本日は俳優の布川敏和氏が同社を訪問。「大きなメーカーではできない、小回りの利く運営で攻めの姿勢を持ち続けたい」という経営理念を持つ社長にお話を伺った。

—まずは小林社長の歩みから。

学業修了後、大手印刷会社に入社しました。しかし、営業を経験したいと思い、健康食品会社に転職。ドラッグストアに健康食品などを営業する仕事に携わりました。そちらには22年間勤務して最終的には社長を務めました。徐々に会社の方針とずれを感じたため、別の健康食品会社へ移ったんです。

—そこからどういった経緯で独立を？

前社時代、取引先だった『吉澤米穀』の社長さんに「使っていない会社があるから、良かったら使わないか」とお声をかけていただき、2014年に会社を引き継いだのです。現在は女性のお客様をターゲットにして、スーパーフードなどを原料に、様々な商品を製造・販売しています。『吉澤米穀』の社長さんには現在も様々な形で協力していただいております。たとえば、社長が運営する別会社では、健康食品の簡単なセットアップなどの仕事をお願いしているのです。

—ご縁を大切に会社を発展させていらっしゃるのですね。貴社ではどんな商品をつくっておられるのですか。

当社の人気商品の一つに、国産のもち麦を使ったグラノーラ「むぎグラ」があります。クセがなく、食物繊維が豊富で、砂糖を使っていないので、体に良いんですよ。また、お米に混ぜて炊く「国産もち麦」も売れ筋商品です。もちもちした食感が美味しく、高血圧を予防する効果もあり病院食にも使われています。これらの商品を問屋に卸し、大手スーパーを

メインに高級食料品店、輸入食料品店などで販売していただいています。当社では販売店やお客様のニーズに合わせて、同じ商品を様々なサイズでご用意し、テレビ番組などでスーパーフードが取り上げられればすぐに出荷できるように手配するなど、会社の規模を活かした小回りがきく運営を強みにしています。

—とはいえ、流行を読み、タイムリーに販売するのは難しいのでは？

当社は恵比寿にも事務所があり、以前商社に勤めていたスタッフがいるので、色んな情報がそこから入ってくるのですよ。スーパーフードは外国産が多く、輸入量の変動などから今後流行しそうな商品や、大手企業が注目している商品の情報などが予想できるのです。また、営業部のメンバーは前社から連れてきており、業界に精通しているので安心して仕事を任せることができているんですよ。

—信頼できるスタッフさんもいらっしゃるようですし、今後がますます楽しみですですね。

ええ。今後は全国の間屋さんで扱ってもらえるように、さらに販路を広げていきたいですね。私としては会社を有名にするより、調べてみると当社の商品だったと分かっていたら良いので、取引している間屋さんのプライベートブランドになるのも一つの方法だと思うのです。そうして目立つよりも、多くの方に当社の商品を手にとっていただくことを重視した経営を続けていきたいですね。

(取材 / 2017年4月)



▲人気商品の「むぎグラ」「国産もち麦」



布川 敏和

「小林社長ご自身も自社の『国産もち麦』を食べて、その効果を実感しておられるのだそう。その積み重ねが自社商品への自信やお客様のニーズを汲み取る能力につながっているのでしょうか」

